

ウミホタル観察講座 開催しました！



- 日時 令和元年8月10日（土）18：30～20：30
- 会場 さぬき市 クアパーク津田及び津田の松原海水浴場
- 講師 香川県立三木高校 教頭 塩田 浩之 氏

8月10日（土）に、さぬき市のクアパーク津田及び津田の松原海水浴場にて、ウミホタル観察講座を開催しました。初めに講師より、「ウミホタル」についての説明が行われました。



高度経済成長期を境に、海の水質が悪化しウミホタルを観察する事が難しくなりましたが、近年では水質も回復しつつあり、県内各地の海で観察ができるほどウミホタルが増えているというお話がありました。

次に、ウミホタルを採集する際の注意事項の説明がありました。受講者が事前に作成してきたウミホタル採集器に、小石を4分の1程度入れ、さらに魚肉ソーセージを入れます。受講者は採集器を海へ投げ入れる際の注意点や、ライフジャケットの着用方法について説明を受けた後、津田の松原海水浴場へ移動しました。



※ウミホタル採集器に小石やエサを加え、準備を進める様子

海水浴場へ移動してから、ウミホタルの採集の準備を進めました。海へ投げ入れて待つ事15分。ウミホタルは刺激を受ける事で発光物質を出す性質があるのでそっと引き上げます。

日の入すぐだった時間帯の関係か、1回目の投入ではウミホタルの数が少なく、再度採集時間を延長し2回目の採集にチャレンジしました。結果、たくさんのウミホタルが採集できました。

幻想的に青い光を放つウミホタルに、受講者の子どもから大人の方まで歓声を上げていました。



※ウミホタル採集器を投げ込む様子



※ライトを当ててウミホタルが動いている様子を観察

講師からは、ウミホタルの光る様子を楽しむ方法として「ウミホタルのじゅうたん」や「ウミホタルのカクテル」を披露していただきました。

受講者からは「ウミホタル自身が発光するのではなく、ウミホタルから吐き出された物質が反応して光ることにびっくりした。」「とても楽しかった。次回も是非やってほしい。」等の声が上がりました。



※氷水を入れたカクテルグラスにウミホタルを入れて発光する様子。まるで「ウミホタルのカクテル」のよう。